

動物病院における 災害対策

パインズ動物病院
松谷佳子

BCP（事業継続計画） Business Continuity Plan

- 企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画
- 人命や資産の保全を主目的とした従来の防災対策と異なり非常時においてもいかに事業の継続させるか、に主眼を置いている

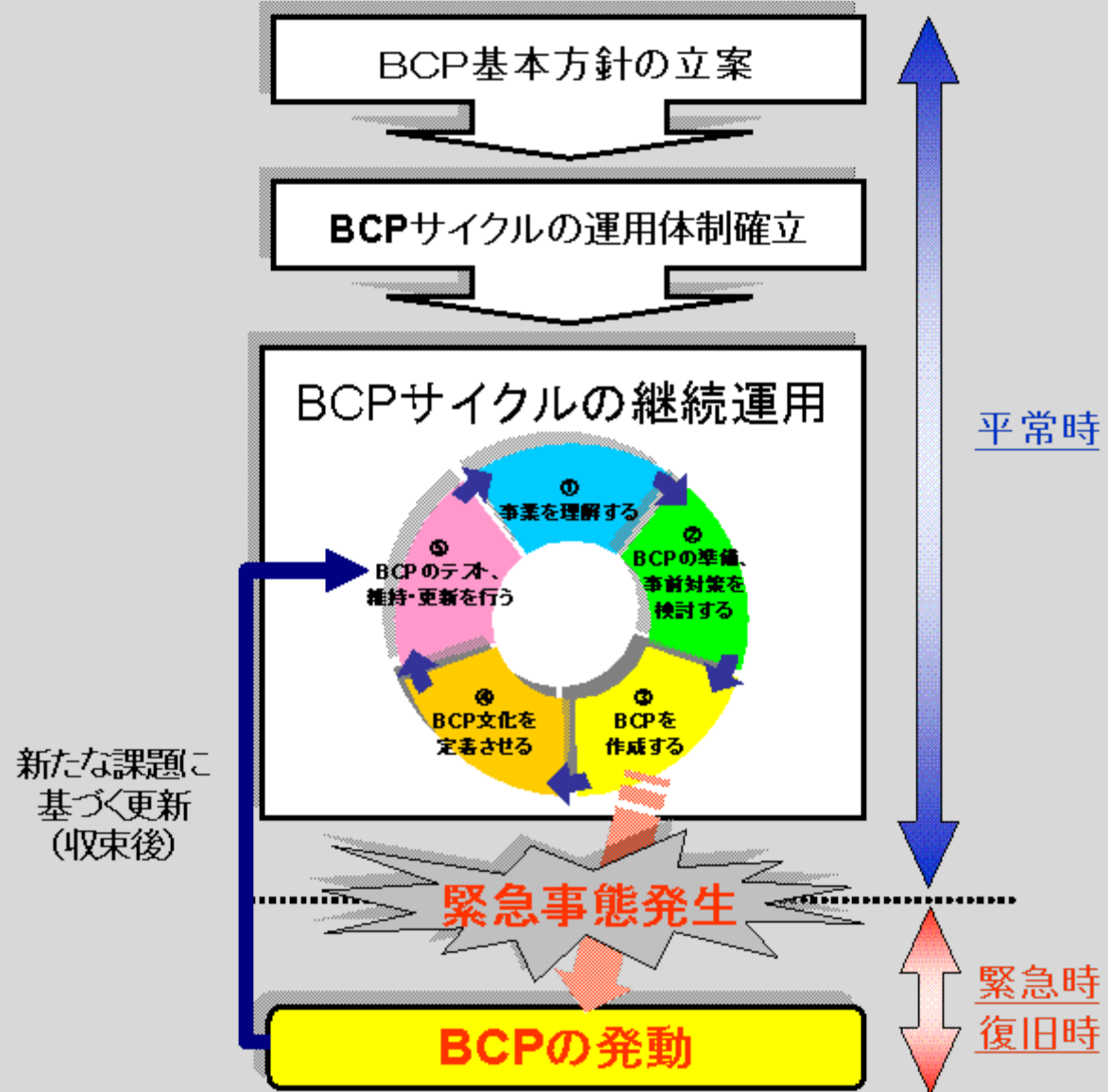
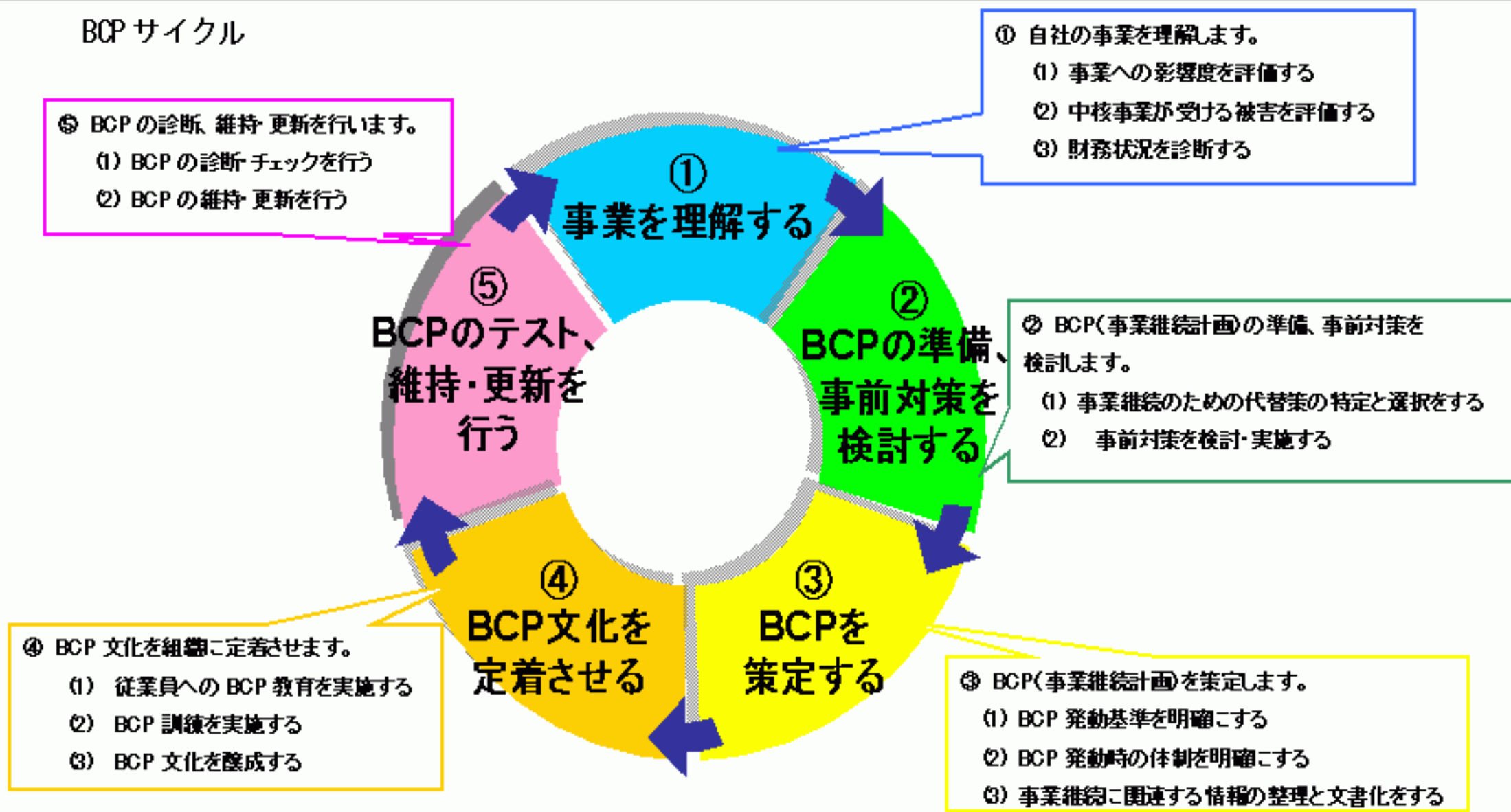


図 BCP策定・運用、緊急時の発動についての全体像

BCP サイクル



現状の分析と対策

- 中核事業の確認
- 想定される災害と災害毎の被害の洗い出し
- 災害対応のための事前準備

Checkpoint

ボトルネック資源の洗い出し

いち早く復旧するために備えるべきことは何か？

中核業務の確認

- 災害時、事業を継続するに当たって最も優先すべき事業が中核業務
- 規模、専門性などで内容は異なる
- 一般診療を主とする動物病院では
 - ・基本的に動物の診療が中核業務
 - ・重要業務として診察、治療（投薬、処置、手術など）
 - ・重要業務を構成するのは、スタッフ（獣医師、動物看護師等）、病院施設・設備、薬品、衛生用品、ライフライン、カルテなど（ボトルネック資源）
- 専門病院・二次病院では
 - ・重要業務は専門分野の診察（画像診断、行動学、中獣医学、眼科、エキゾチックなど）
- 実際の基準としては、「売上げが最もある事業」「社会的の要望の高い事業」などが挙げられる
- 人手、情報、物資などのリソースが平常時よりも極めて少ない状況で、なお優先して継続すべき事業を検討

想定される災害と被害の洗い出し

- 災害には、
 - ・ 自然災害（地震、風水害、雪害、津波、土砂崩れ、地盤沈下など）
 - ・ 大型事故（原子力災害、コンビナート火災、大停電など）、事件、テロ
 - ・ 感染症 ……などがある
- 災害の発生頻度や事業に与えるダメージの深刻度などを基に、自身の動物病院がどの災害について優先的に対策をとるべきか検討
- ボトルネック資源にどのような被害が生じるかを想定し、中核業務の継続にどの程度支障をきたすのかを把握する

BCPの準備、事前対策の検討

- 事業継続のための代替え策の特定と選択
 - ・情報連絡の拠点となる場所の確保
 - ・被災した重要施設・設備の代替確保
 - ・臨時従業員の確保
 - ・資金調達の方針
 - ・通信手段・各種インフラの代替方針
 - ・情報のバックアップ方針
- 特に動物病院では入院患者、通院患者の受け入れ先の確保が重要
- 近隣病院との事前取り決めや、獣医師会を通じた協力体制が求められる

災害対応のための事前準備

- 対策をとるべき優先順位の高い災害について起こりうる被害やリスクを検証し「施設・設備」「情報」「人的リソース」「体制・指示系統」「資金調達」などの視点で細かい内容を決める
1. 施設の安全：ハザードマップ等を参考に起こりうる被害を想定して施設の補強、設備の安全対策をとる
 2. 必需品備蓄、防災用品、非常持出品の準備
 3. 診療情報の保全：電子データの保存をハードディスクの他遠隔サーバへ等、情報の二重管理
 4. 入院患者の安全対策
 5. スタッフの安全対策

災害対応のための事前準備

6. 災害組織体制の構築：役割分担、責任者、担当者の任命。緊急連絡網の整備
7. 関係機関との連携体制の構築：取引先、所属団体等への連絡および救援要請、代替え等の取り決め
8. 防災訓練：災害発生時対応マニュアルの作成と実践
9. 財務対策：被災から事業再開までどのくらいの資金が必要か想定。保険加入、公的支援金対策などの情報確認

BCPの作成（発災から復旧までの事業計画）

1. 初動対応

緊急事態が発覚したら、発見者は従業員に周知した上で、二次災害の防止措置、従業員の参集、安否・被災状況の把握を実施
従来の防災マニュアルに該当する部分

2. 事業継続のための緊急対策

- （1）所属団体、取引業者、近隣動物病院などへの連絡
- （2）中核事業が受けたダメージを判断した上、中核事業の目標復旧時間等の継続方針を立案するとともに、それを実施するための体制を確立

発災から復旧までの事業計画

3. 事業継続のための応急・復旧対策

(1) 患者、所属団体、近隣動物病院向け対策

- ・復旧の見通しをたてながら、患者の受け入れや、薬などの物資供給支援などを所属団体や近隣動物病院などと調節して対応してもらい、被災病院が復旧した時点で事業を復元する

(2) 従業員・事業資源対策

- ・従業員との情報共有と生活支援
 - ・建屋の修理・一時移転
 - ・器具・機械の修理・調達
 - ・情報システムの回復
 - ・薬品、衛生資材、フード等の調達
- ・・・etc

発災から復旧までの事業計画

(3) 財務対策

- ・当面の運転資金を確保した上、さらには事業復旧するための資金を確保

＜復旧資金の確保＞

損害保険や共済

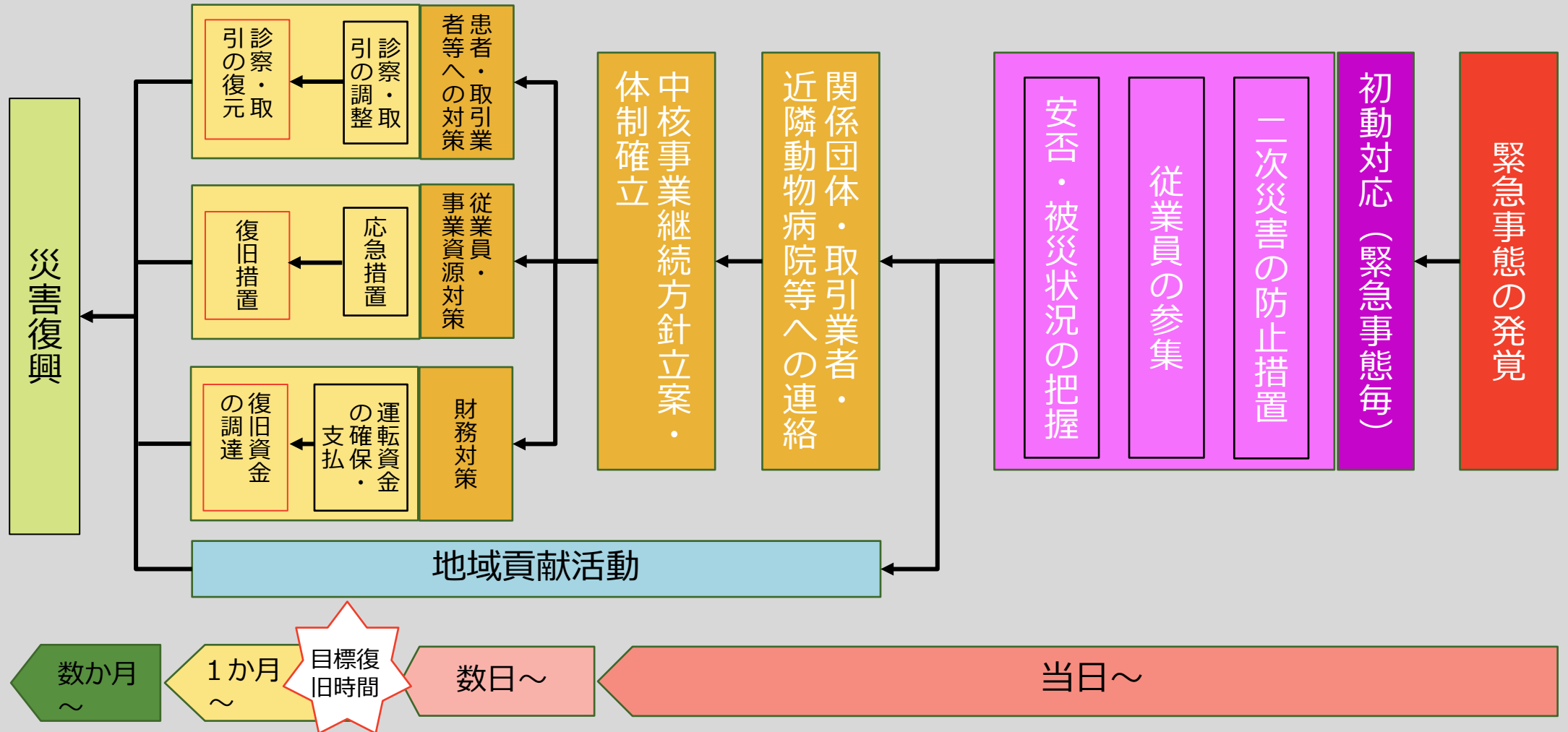
証券等の資産売却

政府系金融機関等からの災害復旧貸付金 ……etc

4. 地域貢献活動

- ・事業継続対策と併行して余力があれば、動物病院の特性を生かした地域貢献活動を行う。（避難所支援、仮設住宅訪問等）

発災から復旧までの事業計画



BCP文化の定着

- 従業員へのBCP教育の実施
- BCP訓練の実施
- BCP文化の醸成

BCPの診断、維持、更新

- 緊急事態発生時の模擬訓練
- 自己診断チェックリストの利用
- 実効性を保つため、実状に沿うよう見直し、更新

参考

中小企業庁ホームページ

<https://www.chusho.meti.go.jp/bcp/index.html>

東京都ホームページ

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryo/kyuukyuu/saigai/zigyokeizokukeikaku.files/honbun.pdf>